

もしものときに  
素早く対応!



(1人用)

場所を選ばない、  
持ち運びに便利な

巾着タイプ

●内容物

ガーゼハンカチ  
20×20 cm ×2

ブルーシート  
1.8×1.8m ×1



ビニール水筒 × 1

塩小袋 × 2



扇子 × 1

タオル冷却スプレー  
「れいこさん」 × 1

熱中症応急処置袋 × 1

※説明書が一部付属します。

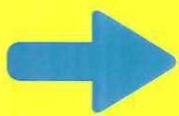


株式会社 **サンパイ**

〒175-0081 東京都板橋区新河岸2-9-5  
TEL 03-3938-7200(代) FAX 03-3939-2060  
<http://www.sampei-j.co.jp>



# 熱中症になったときの 応急処置は？



水分を補給し、涼しい場所で  
休ませること。

熱中症にかかったときは次のような応急処置を行いましょう。



全身がけいれんを起こしたり、意識を失っている場合は  
救急車を呼んで下さい。

- 涼しい室内、または風通しのよい木かげなどに移す。

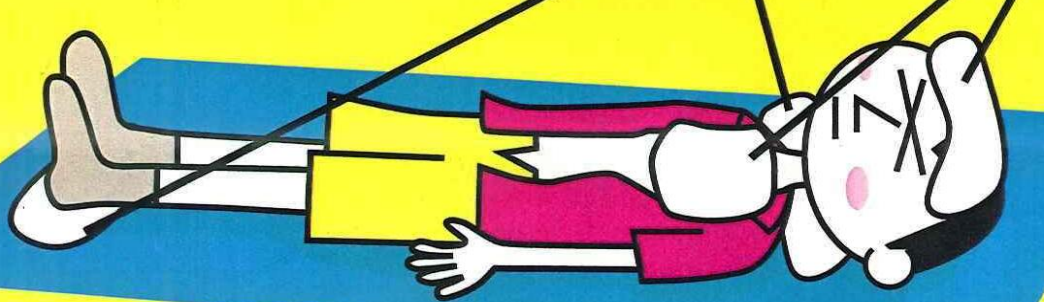
ブルーシートは、日陰を作ったり、敷物としてお使いください。

- 衣類をゆるめ、足を高くして寝かせ、冷タオルなどで体を冷やす。

ビニール水筒に水や空気を入れ膨らまし、熱中症応急処置袋に  
入れ、枕や足を高くするのにお使いください。



タオル冷却スプレー「れいこさん」を、使用前に上下によく  
振り、衣類、ガーゼハンカチ、  
応急処置袋本体へ 5~10 cm  
位離して適量を噴射します。  
(振れば振るほど冷たさが持  
続します)



- 衣類に直接れいこさんを  
噴射し体を冷やす

頭や太い動脈の通ってい  
る所を冷やすと効果的で  
す。(首のわき、わきの下、  
太もものつけ根)

- 扇子や衣服などで風を送る

扇子などであおぎながら、体を冷やすように努めます。

- 水やスポーツ飲料、塩をひとつまみ入れた水などで、水分を補給する

※すでに「熱射病(日射病)」で意識を失っているような場合は、  
水を飲ませては気道に流れ込んでしまうため、かえって危険です。  
救急車が到着するまでは体を冷やす応急措置を続けながら、一刻も  
早く病院・医療機関に運ぶことが大切です。吐いたりした場合は、  
気道をつまらせないよう、横向きに静かに寝かせるようにしましょう。

- 塩をなめさせる

スポーツドリンクでミネラル  
は回復できますが、脱水時に  
飲ませすぎると低ナトリウム  
血症が起こる場合があります。  
そのため、塩を直接舐めさせ  
るなどして塩分を補給するこ  
とが必要です。